

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 9 行政機能が高くなる

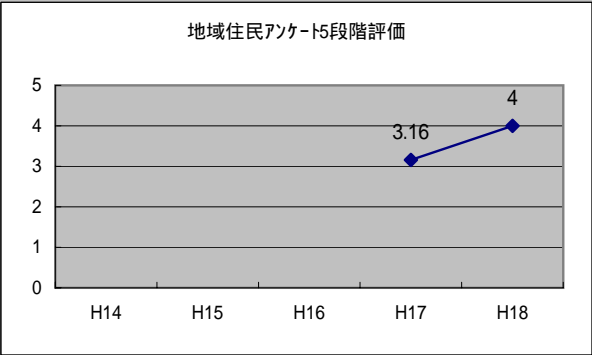
行動目標 9 - 1 社会ニーズに対応した行政運営を行う (所管課名 楠総合支所市民福祉課)

任務	地域における窓口サービスの提供と福祉の向上を図る
----	--------------------------

任務の成果・活動指標の推移

地域住民アンケート5段階評価

H14実績	—
H15実績	—
H16実績	—
H17実績	3.16
H18目標	4



指標の説明

窓口サービス、福祉相談等、直接市民の方と接する業務である為、その対応については、市民の満足度により判定されるものと考え、地域住民アンケートとする。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度
 地域住民の利便を図るとともに合併による住民の不安の解消を図るため、窓口サービスや各種福祉相談の充実に努めた。
 これまで実施していた確定申告について、合併の経過措置として自主申告に向けた指導・PRを行うとともに、受付を行った。
 高齢者の生きがいづくりの拠点として、また高齢者との交流を通じて次世代を担う子どもたちの健全な育成の場としての楠ふれあいセンターを建設した。
 これらの取組の結果として、窓口行政サービスについて、おおむね地域住民の理解が得られた。

平成18年度
 窓口サービスや各種福祉相談の充実を図る。
 確定申告の受付を行う。
 指定管理者が運営する楠ふれあいセンターへの積極的な支援を行う。
 窓口行政サービスについて、引き続き地域住民の理解が得られるよう努める。

これからの課題、施策等展開の方向性

地域住民にとっては、窓口行政サービスに対する不満が生まれることが懸念されるので、制度や仕組みの違いについての周知を図る。
 楠ふれあいセンターについては、指定管理者との連絡調整を密にして施設の有効活用を図る。